

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 1 日

事務事業名		真壁農業者トレーニングセンター管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020402000081
						単独/補助	単独		090501
政策体系	総合計画の施策名		O204 生涯スポーツ活動の振興				所属課		スポーツ振興課
	政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり				課長名		
	施策名		04 生涯スポーツ活動の振興				グループ		スポーツ振興G
	手段名		02 ②快適な施設利用の推進				担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	09	00	00	単年度繰返し (昭和57年度~)		
法令根拠						桜川市真壁トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例、桜川市真壁トレーニングセンター管理規則			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
施設の維持管理、使用許可申請書の受付、使用許可書の交付、利用団体の調整、貸出、清掃業務等の委託契約、夜間管理員の業務：施設の開閉、電話番、戸締まり確認、施設の見回り	貸出日数	日	273.00	273.00	308.00	308.00	308.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
市民	人口(常住人口)	人	38,422.00	37,653.00	37,282.00	36,712.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
スポーツができる施設を利用できる。スポーツを楽しみながら、健康づくりができる。	利用者数	人	4,668.00	4,559.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	261	260	357	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	1,972	1,988	1,316	
	事業費計 (A)	千円	2,233	2,248	1,673		
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	04年度事業費 実績 (千円)			05年度事業費 予算 (千円)		
	10 需用費	678		10 需用費	684	
	11 役務費	8		11 役務費	8	
	12 委託料	922		12 委託料	981	
	14 工事請負費	640				
	合計	2,248		合計	1,673	

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する			

事務事業名	真壁農業者トレーニングセンター管理運営事業	事務事業No.	20402000081	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 真壁トレーニングセンターの建設に伴い、昭和57年9月から施設の利用が開始された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 備品の充実。特に体力の衰えは「足・腰」からと言われるように、足・腰の強化を図るため、ランニングマシンの導入を求める声が多い。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 真壁トレーニングセンターの管理運営を行うことにより、意図の「スポーツができる施設を利用できる。」「スポーツを楽しみながら、健康づくりができる。」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内にある施設を利用できることで利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくり、健康増進にもつながり税金を投入するのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 施設の老朽化により修繕箇所が多くなっている。予算上全てに対応できていないので向上の余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事項はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費はほぼ管理費のみであり、人件費については専属の職員を置いていないので、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則に基づき、使用料を徴収し公平性が確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民が安心してスポーツを実践できる施設管理を行うことで、楽しみながら健康づくりを図ることができる。 トレーニング室の器具がかなり古く、一部の器具において修繕や更新が必要となっている。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 器具の更新し、利用者増を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加					○										
成果	向上 維持 低下			コスト																				
		削減	維持	増加																				
				○																				
(6) 事務事業優先度評価結果	⑤																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>